

【患者・ご家族の皆様へ】 当院における「身体的拘束ゼロ」への取り組みと実績

十全病院では、患者さまの尊厳を何よりも大切にし、安全で安心な療養環境を提供するため、原則として「身体的拘束を行わない」方針を掲げています。

■ 私たちの基本方針

1. **原則禁止:** 転倒転落の防止や、チューブを抜いてしまうことを防ぐ目的であっても、安易に身体的拘束(ベッド柵で囲む、抑制帯を使用するなど)は行いません。
2. **患者主体のケア:** 身体的拘束に頼らないよう、多職種(医師、看護師、リハビリスタッフ等)で連携し、患者さまの苦痛や不安を取り除くケアを実践します。
3. **やむを得ない場合の例外:** 生命に危険が及ぶ可能性が極めて高く、他に代替手段がない場合に限り、ご家族へ十分にご説明し、同意をいただいた上で、必要最小限の時間のみ実施することがあります。(※日々解除に向けた検討を行います)

■ **身体的拘束の実施率(推移)** 当院では、実施状況を確認し、より一層の削減に努めています。

医療の質を測る指標の一つとして実施率を公開しています。(※計算式:身体的拘束を実施した延べ患者数 ÷ 延べ入院患者数 × 100)

- **2025年度 下半期(10月~3月)平均実施率: [0.6] %** (※国が定める基準である3%以下を達成・維持しております)

【月別推移】

- 2026年4月:[0.6] %

今後も、職員一同、身体的拘束を最小化するための研修やカンファレンスを重ね、より質の高い医療・ケアの提供に努めてまいります。ご不明な点やご不安なことがありましたら、遠慮なくスタッフまでご相談ください。

[2026年5月1日][十全病院 病院長 / 身体的拘束最小化推進チーム]